

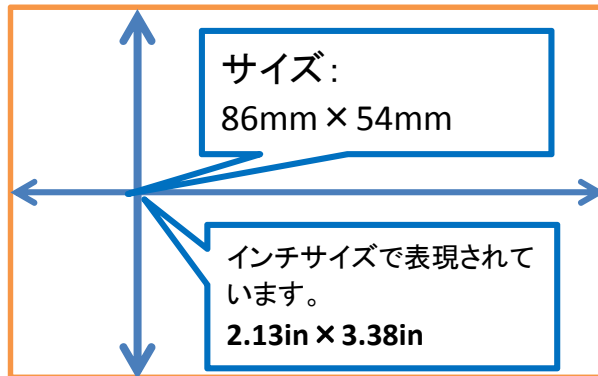
## SP55Plus 用発行ソフト作成について

1) 本プリンターは、汎用のプリンタードライバーを装備しています。

一般のインクジェットプリンターやレーザープリンター同様に、お使いいただくことができます。

ただし、  
①用紙サイズ(カード)が限定されていること。  
②「プラスチックカード専用」のプリンターという点

が通常のプリンターとの違いです。



2) ワードやエクセルなどの汎用ソフトからでも印刷ができます。

①任意の位置に、任意のフォント(書体)を使用して文字を配置するだけです。

②磁気データの場合も同様です。

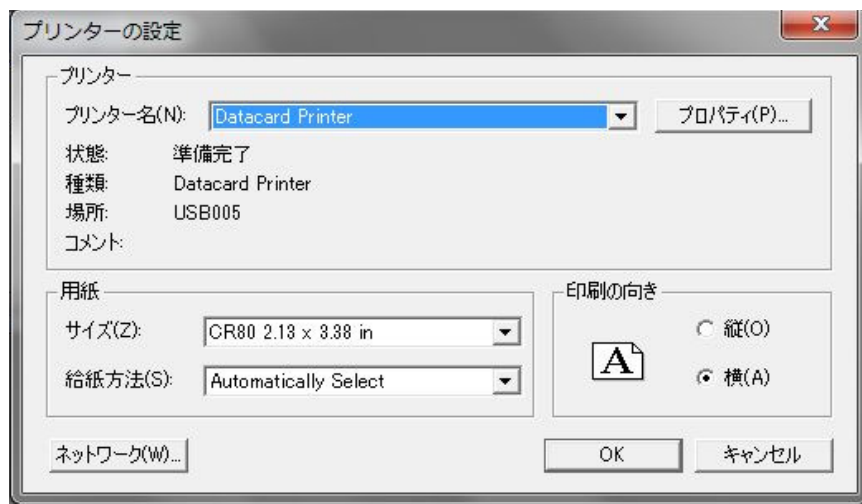
ただし、この場合は、「磁気データエンコード機能付きのプリンター」が装備している  
「NTT-Magnetic」というフォントを使用します。

③磁気データは、カード裏面についている「磁気テープ」に書き込まれます。

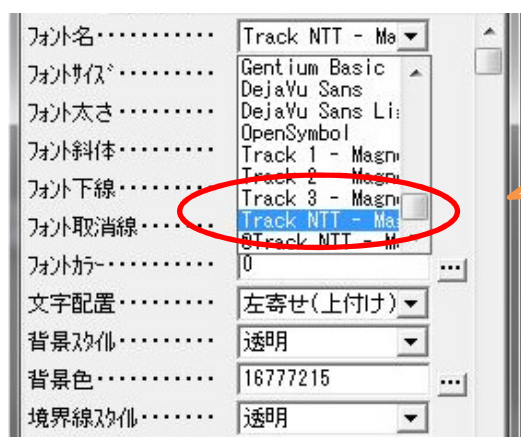
④上記の設定後、「プリンターの設定」から、「DatacardPrinter」を選び、「印刷」をすれば、「プラスチックカード」に直接印字ができます。



プリンターを選択することで、「用紙」(カードサイズ)が自動設定されます。



- 3) 磁気データについては、同上プリンターをインストールすることで、「Track NTT-Magnetic」というフォントが選択できるようになります。



フォントの表示画面は、  
お使いになるソフトによって  
異なります。

左図は弊社ソフト  
「パル」の表示例です。

#### <磁気データ作成のポイント>

- (1) カード裏面にある「磁気テープ部」にデータを書き込みます。  
...基本は、「印字面の反対面」に「磁気テープ」がある仕様となっています。
- (2) 「印字面」と同一面に「磁気テープ」がある場合には、  
「両面印刷」の機種で対応します。  
...「磁気データの書き込み」後、「自動反転したカードに印字」をします。

#### 4) 自社で、ソフトを作成できるお会社様におすすめする方法です。

- ・ 自社で、ソフト開発ができるお会社様
  - ・ 自社でお使いになっているデータベースソフトから、新規に用紙の設定ができるなら
- ① データベースをお使いのPCに「SP55Plus」のプリンタードライバーを導入します。  
※SP55Plus 以外の機種でも同様にお使いいただけます。
  - ② 新規に用紙サイズ「86mm×54mm」の帳票を作成します。
  - ③ その帳票に「印字されたい項目」を配置されて、設計し、
  - ④ プリンターの設定をすれば、完了です。
- 自社のデータベースから、簡単に、ダイレクトに「プラスチックカード」の印刷ができます。

自社のデータベースから、  
簡単に、ダイレクトに「プラスチックカード」の印刷ができます。